

シニア女性映画祭・大阪 2015

特集 ウーマン・リブ 45周年

“今も、私たちはリブ!”

2015.11.14(土)15(日)11:00~(開場10:40)

すてっぷホール

とよなか男女共同参画推進センター
(阪急宝塚線 豊中駅下車 エトレとよなか5階)

- ◆入場料：前売り：800円 当日：1000円
- ◆中学・高校生無料
- ◆車椅子・同伴者半額
- ◆定員：上映毎148席



上「30年のシスターフッド」
中「レズビアナ」
下「ルッキング・フォー・フミコ」

申込先：「波をつくる 女たち」シスターウェイブス

mail : sister-waves@qc.fem.jp

携帯：080-3783-4552

Blog : <http://sisterwave.exblog.jp/>

URL : <http://sister-waves.fem.jp/>

Women Make Sister Waves



主催：「波をつくる女たち」シスターウェイブス

協賛：とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ

指定管理 一般財団法人 とよなか男女共同参画推進財団

一時保育あり

1歳～小学3年生まで、子ども1人につき

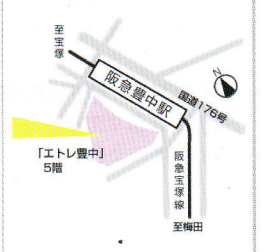
540円(2時間、税込)

810円(3時間、税込)

11月7日(土)までにお申し込みください。

申込先：携帯080-3783-4552

mail:sister-waves@qc.fem.jp



★本邦初上映!

11月14日(土) 11:00

「そして多くの女たちが…」

—バルセロナの LaSal—

制作フランチェスカ・ボンメソン女性文化センター /
ドキュメンタリー / 26分 / スペイン

1975年11月、フランコの死とともに36年間にわたるスペインの独裁が終わった。1977年、民主選挙がおこなわれ、その年、フェミニストの伝統があるバルセロナにブックカフェ LaSal が開店。女たちの文化、政治の場となり、多くの女たちが参加。



「女たちの反逆—トルコの女性解放運動」

監督：メレク・ウズマン

ドキュメンタリー / 57分 / トルコ 英語版あり

1970年代後半、トルコでは政治が混沌しテロが横行、80年9月12日軍事クーデターが勃発。左翼の大学教員は大学から追放された。集会禁止令がある中、81年、ばらばらに存在していたフェミニストたちはひそかに意識向上のグループを開始、それは他の女たちにも広まった。左翼男性の壁を乗り越えて、やがて力強い女性運動が誕生。

メレク・ウズマン Melek Özman

1974年生まれ。大学卒業後、テレビで働く。その後、女性独立シネマなど、女性組織の設立に参加。2001年にトルコのフィルムア女性映画祭の設立に参加、作品に「クリトリスって何?」他。

11月14日(土) 14:20

「ルッキング・フォー・フミコ」

監督：栗原奈名子 / ドキュメンタリー / 57分 / 1993 / 日本 英語字幕

監督はニューヨークで自由な女性、ウーマン・リブのフミコさんと出会い、日本のウーマン・リブを探す旅に出る。様々な人生を生きてきた女性たちの暮らしぶりから、リブの女たちの姿がみずみずしく描きだされたパーソナル・ドキュメンタリー。



栗原奈名子

大阪府出身。ニューヨーク大学パフォーマンス学科で博士号を取得。その間に、93年に「ルッキング・フォー・フミコ」、日本に戻り、08年「ブラジルから来たおじいちゃん」制作。

11月14日(土) 15:45

「30年のシスターフッド

—70年代ウーマン・リブの女たち—

監督：山上千恵子・瀬山紀子 / ドキュメンタリー / 60分 / 2004 / 日本 英語字幕

70年代、女であることの生きにくさを声にし、社会の求める「女」の枠組みを超えて自分の生き方を探して来たウーマン・リブの女たち。今もシスターフッドでつながり自分らしく生きてきた12人のリブたちがどのようにリブと出会い、



何を求めたのか、それぞれの当時の思いを語るドキュメンタリー。

山上千恵子

80年からビデオ製作をはじめ、01年「Dear Tari」ソウル女性映画祭観客賞。山川菊栄などのドキュメンタリー制作。海外女性映画祭で上映。01年から10年まで女性映画祭・大阪で活動。

瀬山紀子

「ビデオ塾」、「連連影展 FAV」メンバー。作品：「こーゆう生活がしたかったの」(00年)

特別企画トーク 14日(土) 17:00

—70代が語るリブ45年—

果てしなくリブ・ロードはつづく

舟本恵美 佐伯洋子 吉清一江 山上千恵子

11月15日(日) 11:00

沖縄戦の記憶「沖縄戦の少女たち」

影山あさ子・藤本幸久監督 / ドキュメンタリー / 22分 / 2014 / 日本

1945年3月の沖縄戦で12万人以上の県民が亡くなった、9万4千人は軍人ではない一般の住民だ。当時、目の見えない母親と幼い弟を連れて、戦場を逃げまどった島袋文子さんは15歳。親戚や家族と一緒に、壕から壕へ逃げ続け、摩文仁の丘で米軍の捕虜になった仲程シゲさんは16歳。忘れてはならない体験を語る。島袋さんは今も辺野古基地反対と座り込みをする。

影山あさ子

「ラブ沖縄@辺野古@高江」(12年)「笹の墓標」「庄殺の海—沖縄・辺野古」藤本幸久監督と共同監督。

11月15日(日) 11:00

「ビルマに消えた慰安婦たち—1997年5月～1998年9月現地調査の記録」

取材・構成：森川万智子 / ドキュメンタリー / 22分 / 1999 / 日本

1942年3月から45年初頭まで日本軍によって、全土を支配されたビルマ。あまり知られていないビルマの日本軍「慰安婦」と慰安所の実態を、文玉珠さんの証言、残留日本兵や、地元の人々などの聞き取りと、発掘した資料から明らかにした。14カ月にわたる現地調査の報告である。



森川万智子 慰安婦問題研究家。

韓国やビルマの慰安婦への聞き取り調査結果を、著書やビデオにまとめている。1996年度山川菊栄賞。

★本邦初上映!

11月15日(日) 14:00

「レズビアナ—もうひとつの革命—」

監督：ミリアム・フォージェル / ドキュメンタリー / 63分 / 2012 / カナダ 原語英語

1970年代の女性解放運動から生まれて1995年ごろに終わりを迎えたラディカル・レズビアン運動を、その担い手であり、革命的なシスターフッドを創造した米国・カナダの作家、哲学者、活動家たちを訪ね歩き、インタビューしたドキュメンタリー。生い立ちから運動までを振り返って率直に語る、70代、80代になった勇気あるパイオニアに、「ありがとう」といいたくなる作品。



ミリアム・フォージェル

Myriam Fougère

ケベック出身。彫刻、映画、写真、詩作などのマルチアーティスト。1987年より5年間ニューヨークに住み、東海岸レズビアン・フェスティバルを組織。ケベックの助成金を受けて制作された本作品は各国の女性映画祭で上映。

リブ45周年祝賀パーティー 14日 18:30～ 会費 2500円 予約制 締切 11/5